

2023年10月15日（日）

「学生就職支援活動について」

機械工学科OB会副会長 斉藤 福一

支援活動の経緯

1. 2014年 現理工学部長 辻森先生のご発案で就職支援委員会発足
主旨：大学の就職支援システムの変更により学生への就職支援困難
学生の就職に対する意識改革 OBの経験を活かし喚起促進
具体策：職種、業種の区分を明確に理解し企業選択に活かす
面接力の強化支援（エントリーシートの作成例、集団模擬面接実施）
支援委員の「座右の銘」、就活と人生のQ&A
就職支援委員により「就職支援教本」作成
2. 2019年 上記を活かした学生との面談形式による就職支援実施
就職率100%に向上並びに一部上場企業に多数就職
3. 2020年 コロナ禍となり活動自粛、ビデオレターによる就職支援
4. 2020年以降 就職活動の内容激変
オンライン授業
企業説明会：8割以上の企業が面談のオンライン化
採用方法：オンライン化、動画選考、インターンシップ重点化
就職率低下傾向
5. 2022年
学生に「自信」「やる気」を喚起する学校・OB会連携プロジェクト提案
 - 1) 9月時期 二年次生対象講話：熟年OBによる人生経験からくる講話
研究室選考、就職活動、人生を見据えた大人に向かうための意識改革
 - 2) 11月時期 三年次生対象
若手OB、OGによる就活・就職・実社会の経験談より質疑応答を通して目の前の就活に活かす
 - 3) 1月時期 三年次生対象
熟年OBによる社会的地位のある人材に就活に向けた心得及び経験談の講話
「やりたい」職種との出会い応援
 - 4) 2月時期 三年次生対象
4年次生、院生の内示確保の先輩より具体的就活内容教授
経験談を咀嚼し学内で行われる企業説明会に臨み活路を見出す

関東学院大学工学部機械学系 2 年次対象講話

ダイジェスト版

講話者：関東学院大学機葉会幹事 葉山 直

略歴 1959 年 8 月 26 日（水）生まれ おとめ座 血液型：A 型 年齢：64 歳

「生をなすは奇跡なり」

生い立ち 横須賀生まれ・逗子鎌倉育ち

日時 2023 年 9 月 28 日(木) 15:10～16:10

場所 フォーサイト 2 1 202 教室

テーマ 「岐路に備えて」

概要 人生は選択の連続、何を基準に人生を歩むのか？その時に備え、心構えを考えてみましょう。

上記の通り実施いたしました。講話内容のダイジェスト版は下記の通りです。

人生の岐路に立った時、決意や決心を持ち合わせることが重要です。例えば、進学や就職の際などです。似たような言葉で、「覚悟を決める」と表現する場合があります。

決意は、意思を決める。決心は、心を決める。しかし、「覚悟を決める」という場合は、その先に苦難があることが分かっている、ゆるぎない決意や決心をしている時に表現します。人生は、選択の連続ですが、岐路に立たされた時、「覚悟を決める」事が最も重要です。

では、その決意や決心を定めるためには、何が必要でしょうか。それは、夢を持つことです。自身が描く、なりたい夢です。経験上、夢は心に秘めていては叶いません。夢は、第三者に語ることで引き寄せられます。ポジティブに語る事が重要です。プラス思考で、「口に+で叶う」ここに+か加わると「吐く」になりますから、ネガティブな気持ちは夢を遠ざけます。語るときは、プラス思考が重要です。話していると夢の実現に協力して下さる方が現れるものです。

また、ご自身の立ち軸として、「明朗」・「愛和」・「喜働」を心掛けることをお勧めします。

「明朗」は、明るく朗らかな精神状態を心掛けることです。

「愛和」は、愛情を持って、多くの方々と調和することです。

「喜働」は、喜んで進んで働くことです。

日常生活から実践（実験）してみてください。これは、幸せになる法則です。今後、多くの出会いがあることでしょう。出会いのプロセスの中で、第一印象は重要です。良い印象を得るための秘訣が「明朗」です。そして、「愛和」の精神を持って、対話を重ねてください。そこには、間違いなく協力し合う。協調し合う。精神が芽生えます。それこそが、「喜働」の精神に繋がる早道なのです。

そして、最後に、人生の選択に正解は無いと思っています。選択した結果が、正解になるよう努めることが、人生の成功者ではないでしょうか。